

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6807592号
(P6807592)

(45) 発行日 令和3年1月6日(2021.1.6)

(24) 登録日 令和2年12月10日(2020.12.10)

(51) Int. Cl. F 1
A 4 1 B 3/12 (2006.01) A 4 1 B 3/12
A 4 4 B 99/00 (2010.01) A 4 4 B 99/00 6 0 1 Q
 A 4 4 B 99/00 6 1 1 Z

請求項の数 7 (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2016-117782 (P2016-117782)
 (22) 出願日 平成28年6月14日(2016.6.14)
 (65) 公開番号 特開2017-222938 (P2017-222938A)
 (43) 公開日 平成29年12月21日(2017.12.21)
 審査請求日 令和1年6月12日(2019.6.12)

(73) 特許権者 503316581
 カーシーカシマ株式会社
 栃木県佐野市戸奈良町1022番地
 (74) 代理人 100123021
 弁理士 渥美 元幸
 (72) 発明者 増田 有美子
 東京都中央区銀座5丁目13番12号 カ
 ーシーカシマ株式会社東京支店内

審査官 ▲高▼辻 将人

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スカーフ留め構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

衿部を有する衣類の首回りにスカーフなどの装飾品を留めるためのループを備えたスカーフ留め構造であって、

台衿の上縁から下縁にかけてループが複数形成されており、

台衿の表側上縁に沿ってループの一端が固定され、

台衿の裏側下縁に沿ってループの他端が固定されている

ことを特徴とするスカーフ留め構造。

【請求項2】

前記複数のループがそれぞれ中間で交差してクロスループを形成している

ことを特徴とする請求項1記載のスカーフ留め構造。

10

【請求項3】

前記複数のループの他端を重ねてV字状ループを形成している

ことを特徴とする請求項1記載のスカーフ留め構造。

【請求項4】

前記複数のループは、径の大きさが異なるループを含む

ことを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載のスカーフ留め構造。

【請求項5】

前記複数のループは、同じ径のループ同士を繋ぎ合わせて構成されているループを含む

ことを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載のスカーフ留め構造。

20

【請求項 6】

小さな径の小ループが大きな径の大ループに重ねられていることを特徴とする請求項 4 又は 5 記載のスカーフ留め構造。

【請求項 7】

小ループより径が大きく大ループより径が小さい中ループを備え、中ループも大ループに重ねられており、小ループが大ループの下端側に重ねられていることを特徴とする請求項 6 記載のスカーフ留め構造。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】**

10

【0001】

本発明は、スカーフを衣服の衿部などの首回りや胸元に着脱させる構造に関する。

【背景技術】**【0002】**

首回りを華やかに見せるために首や衣服の衿部にスカーフを巻き付けて着用することがある。スカーフの着用にあたっては、スカーフを首に巻き付けて長さや形を整える手間がかかることから、衿部の裏側などにスカーフ等の装飾を挿通して保持するためのループ部を取り付けた衣服が提案されている（例えば、特許文献 1 参照。 ）。

【先行技術文献】**【特許文献】**

20

【0003】

【特許文献 1】 実用新案登録第 3 1 8 6 0 9 2 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

上記特許文献 1 の衣服は、スカーフの着脱を容易ならしめるうえで画期的なものである。しかしながら、取り付けられたスカーフの形状やスカーフの柔らかな膨らみを保持することが難しいという問題がある。また、ある程度はスカーフのずり下がりや抑止できるものの、長時間に亘って安定性を維持することは難しいという問題もある。

【0005】

30

そこで、本発明は、このような問題に鑑みなされたものであり、衣服の衿部などの首回りにスカーフを着脱させるにあたり、スカーフの保形性を長時間に亘って維持することができるスカーフ留め構造を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

上記課題を解決するために、本発明に係るスカーフ留め構造は、衿部を有する衣類の首回りにスカーフなどの装飾品を留めるためのループを備えたスカーフ留め構造であって、台衿の上縁から下縁にかけてループが複数形成されており、台衿の表側上縁に沿ってループの一端が固定され、台衿の裏側下縁に沿ってループの他端が固定されていることを特徴とする。

40

【0007】

これによれば、スカーフの保形性を長時間に亘って維持することができるスカーフ留め構造が実現される。

【0008】

また、衿部を有する衣類の首回りにスカーフなどの装飾品を留めるためのループを備えたスカーフ留め構造であって、台衿の上縁から下縁にかけてループが複数形成されており、台衿の下縁にループを構成する薄片を挿通可能なスリットが設けられ、台衿の表側上縁に沿ってループの一端が固定され、ループの他端が当該スリットに通されてから台衿の裏側上縁に沿って固定されていることを特徴とするスカーフ留め構造として構成することもできる。

50

【0009】

さらに、衣類の首回り又は胸元にスカーフなどの装飾品を留めるためのループを備えたスカーフ留め構造であって、衣類の首回り又は胸元にループが複数形成されており、衣類の首回り又は胸元を構成する身生地 of 縁に沿ってループの一端が固定され、ループの他端は固定されていないことを特徴とするスカーフ留め構造として構成することもできる。

【0010】

ここで、前記複数のループがそれぞれ中間で交差してクロスループを形成しているとするのが好ましく、また、前記複数のループの他端を重ねてV字状ループを形成しているとするとしてもよい。

【0011】

これによれば、スカーフの固定が強化されるとともに、スカーフの形状を崩すことなくふんわりとした整形が可能となる。

【0012】

また、前記複数のループは、径の大きさが異なるループを含むとするのが好ましく、前記複数のループは、同じ径のループ同士を繋ぎ合わせて構成されているループを含むとしてもよい。このとき、小さな径の小ループが大きな径の大ループに重ねられているのが好ましく、小ループより径が大きく大ループより径が小さい中ループを備え、中ループも大ループに重ねられており、小ループが大ループの下端側に重ねられているとすれば、より好ましい。

【0013】

これによれば、ミニスカーフを一枚だけで使用する場合や、成型型のミニスカーフやロングスカーフをアレンジして使用する場合などの様々な利用形態に対応しうるとともに、例えばミニスカーフ使用時に生じやすいスカーフすべりなど、それぞれの利用形態で生じやすい現象を改善して、長時間の使用にも型崩れを生じさせにくいスカーフ留め構造が実現可能となる。

【0014】

さらに、少なくともいずれか1つのループが捻りを加えられたツイストループであるとしてもよいし、少なくともいずれか1つのループが折り畳まれて形成されるフォルディングループであるとしてもよい。

【0015】

これによれば、スカーフを差しこみやすくなるとともに、スカーフの柔らかな膨らみを損なうことなく、スカーフを美しく取り付けられる空間を創出することができる。

【発明の効果】

【0016】

以上のように、本発明に係るスカーフ留め構造によれば、スカーフの保形性を長時間に亘って維持することができ、種々のスカーフのアレンジが可能となり、様々な利用形態に対応可能となる。また、スカーフを差しこみやすくなることや、スカーフの柔らかな膨らみを損なわずにスカーフを美しく取り付けることができ、首回りを見栄えよく華やかに装飾することができる。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図1】スカーフ留め構造を衿付きシャツに適用した例を示す図である。

【図2】スカーフ留め構造を拡大して示す図である。

【図3】スカーフ留め構造の第2例を示す図である。

【図4】スカーフ留め構造の第3例を示す図である。

【図5】スカーフ留め構造を衿付きシャツに適用した別の例を示す図である。

【図6】スカーフ留め構造をホール付きジャケットに適用した例を示す図である。

【図7】ホール付きジャケットにおけるスカーフ留め構造を拡大して示す図である。

【図8】スカーフ留め構造をノーカラージャケットに適用した例を示す図である。

【図9】ノーカラージャケットにおけるスカーフ留め構造を拡大して示す図である。

10

20

30

40

50

- 【図10】スカーフ留めダブルループの例を示す図である。
- 【図11】スカーフ留めダブルループにスカーフを通した状態を示す図である。
- 【図12】ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めダブルループを示す図である。
- 【図13】ジャケットにおけるスカーフ留めダブルループを示す図である。
- 【図14】ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めダブルループを示す図である。
- 【図15】スカーフ留めトリプルループの例を示す図である。
- 【図16】スカーフ留めトリプルループにスカーフを通した状態を示す図である。
- 【図17】ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めトリプルループを示す図である。
- 【図18】ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めトリプルループを示す図である。
- 【図19】スカーフ留めトリプルループの別の例を示す図である。 10
- 【図20】スカーフ留めトリプルループにスカーフを通した状態を示す図である。
- 【図21】ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めトリプルループを示す図である。
- 【図22】ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めトリプルループを示す図である。
- 【図23】スカーフ留めツイストループの例を示す図である。
- 【図24】スカーフ留めツイストループを拡大して示す図である。
- 【図25】スカーフ留めツイストループを説明するための図である。
- 【図26】ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めツイストループを示す図である。
- 【図27】ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めツイストループを示す図である。
- 【図28】スカーフ留めフォルディングループの例を示す図である。
- 【図29】スカーフ留めフォルディングループを拡大して示す図である。 20
- 【図30】スカーフ留めフォルディングループを説明するための図である。
- 【図31】スカーフ留めフォルディングループの作用を説明するための図である。
- 【図32】ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めフォルディングループを示す図である。
- 【図33】ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めフォルディングループを示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0018】

以下、本発明の実施形態について図面を参照しながら説明する。

【0019】 30

(実施の形態1)

図1は、本実施形態のスカーフ留め構造を衿付きシャツに適用した例を示す図である。

【0020】

本実施形態のスカーフ留め構造は、シャツ1の衿部2を折り返すことで現れる台衿3の上端から下端にかけてスカーフ留めとなるループ10を複数形成するものである。このループ10にスカーフ9やリボンなどを挿通して首回りを華やかに装飾することができる。ループ10は、薄片で構成されており、ポリエステル製の布帛朱子織テープまたは身頃と同じ素材のものが使用され、経糸に綿タッチのスパンデックスを撚糸し、緯糸に嵩高加工系のウーリー糸を使用することで、保形性だけでなく、ふくらみ感と柔らかさおよび防皺性を有するものとなっている。 40

【0021】

図2に、スカーフ留め構造を拡大して示す。台衿3の表側上縁に沿ってループ10の上端11が縫着または接着などにより固定されている。ループ10の他方の端である下端12は、衿部2の折り返りを阻害しないために台衿3の裏側に回り込ませて台衿3の下縁に沿って縫着または接着などにより固定されている。台衿3の表面の直線とループ10の曲線により、衿部2と台衿3の形状、立ち衿の美しさを保ちながらスカーフ9の柔らかな膨らみを損なうことなく、スカーフ9を美しくふんわりと取り付けられる空間を創出することができる。また、ループ10の下端12を台衿3の裏側に回り込ませることで、台衿3の下側にスカーフ9の膨らみを維持させることができる厚み分量を持たせることができスカーフ9のふんわりとした外観を維持することができる。 50

【 0 0 2 2 】

図 3 には、スカーフ留め構造の別の例として、ループをそれぞれの間においてクロスさせたものを示す。クロスループ 1 3 は、ループをたすきがけとすることでスカーフ 9 の固定が強化されるとともに、スカーフ 9 の形状を崩すことなくふんわりとした整形を可能にする。スカーフ 9 の固定をより確実にするうえで、クロスループ 1 3 は、ループ同士を約 30° の角度で交差させて形成するのが好ましい。

【 0 0 2 3 】

図 4 には、スカーフ留め構造のさらに別の例として、ループを V 字状に配したものを示す。V 字ループ 1 4 は、ループの下端 1 5 を台衿 3 の下縁近傍で重ねて V 字状に形成したものであり、スカーフ 9 の固定を強化することができる。スカーフ 9 を美しく見せるうえではスカーフ 9 を下方に垂らす落ち感を持たせて整形するのが望ましいとされる。V 字ループ 1 4 によれば、スカーフ 9 の落ち感を活かした見栄えのよい整形が可能となる。このような効果を得るために、V 字ループ 1 4 はループ同士が約 30° の角度となる V 字を描くよう形成するのが好ましい。

【 0 0 2 4 】

(実施の形態 2)

実施の形態 2 として、スカーフ留め構造を衿付きシャツに適用した別の例を説明する。なお、上記実施の形態と共通する部分については説明を適宜省略し、異なる部分について詳しく説明する。

【 0 0 2 5 】

図 5 は、スカーフ留め構造を衿付きシャツに適用した別の例を示す図である。

【 0 0 2 6 】

上記実施の形態ではループの他方の端を台衿 3 の裏側に回り込ませて台衿 3 の下縁に沿って固定することにしたが、ここでは台衿 3 の下端近傍にスリットを設けて台衿ホール 1 8 を形成し、ループの他方の端を台衿 3 の上縁で固定している点で異なる。

【 0 0 2 7 】

すなわち、本実施形態のループ 1 6 は、台衿 3 の表側の表縁に沿ってループ上端 1 7 が縫着または接着などにより固定され、台衿 3 の下縁に沿って開けられた台衿ホール 1 8 に通されて、他方のループ端 (ループ上端 1 9) が台衿 3 の裏側の表縁に沿って縫着または接着などにより固定されている。台衿ホール 1 8 は、ループ 1 6 を挿通可能な幅と厚みを有するスリット状に孔が開けられて構成されている。

【 0 0 2 8 】

これによれば、衿付きシャツの表側 (外側) にも裏側 (内側) にもスカーフを通すことができる複数のループが形成されるので、内外いずれにもスカーフを装着することができるようになる。また、いずれか一方のループにスカーフを装着すると、スカーフの重みにより反対側のループは台衿 3 に接触する方向へ作用してループの膨らみが打ち消されるので、衿近傍の厚みが増すことはない。

【 0 0 2 9 】

(実施の形態 3)

続いて、実施の形態 3 として、スカーフ留め構造をホール付きジャケットやノーカラージャケットに適用した例を説明する。なお、上記実施の形態と共通する部分については説明を適宜省略し、異なる部分について詳しく説明する。

【 0 0 3 0 】

図 6 は、スカーフ留め構造をホール付きジャケットに適用した例を示す図である。

【 0 0 3 1 】

ここでは、ラペル (下衿) 5 にホール 6 を備えたジャケット 4 に、ループを有するループ片 2 0 を取り付けた例を示している。図 7 に、このホール付きジャケットにおけるスカーフ留め構造を拡大して示す。ループ 2 1 を有するループ片 2 0 は、ラペル 5 の裏側に取り付けられている。ループ片 2 0 の一方の端部は、ラペル 5 と身生地との境界側の縁に沿って縫着または接着などにより固定されており、他方の端部は固定されておらず、遊離し

10

20

30

40

50

た状態となっている。ループ片20は、ホール6に挿通可能な幅と厚みとされ、ホール6にループ片20を通してからラベル5を折り戻すとジャケット4のラベル5の表側にループ21を有するループ片20が現れ、着用者の首回りや胸元を装飾するスカーフ9が取り付け可能となる。ここでは、ラベル5にホール6を備えたジャケット4を例示しているが、ホールのないジャケットの場合は、ループ片を身生地側に折り返すことでラベルから現出させてスカーフ9を取り付け可能な状態とすることができる。なお、ループ片の遊離した状態の他方の端部は、スカーフ9が取り付けられるとスカーフの重みにより身生地側への折り返しが保持されるのでラベル側へ戻ることがない。

【0032】

図8は、本実施形態のスカーフ留め構造をノーカラージャケットに適用した例を示す図である。

10

【0033】

ここでは、衿部のないノーカラージャケット7に、ループを有するループ片30を取り付けた例を示している。図9に、このノーカラージャケットにおけるスカーフ留め構造を拡大して示す。ループ33を有するループ片30は、例えばノーカラージャケット7の首回り部の内側（裏側）に取り付けられている。ループ片30の一方の端部32は、首回り部の縁近傍に縫着または接着などにより固定されており、他方の端部は遊離した状態となっている。首回り部の縁に沿ってループ片30を挿通可能な幅と厚みを有する支持ループ31が設けられており、この支持ループ31にループ片30を折り返して通すことにより、ノーカラージャケット7の首回り部からループ33を有するループ片30を現出させて、スカーフ9を取り付け可能とする。ループ片の遊離した状態の他方の端部は、支持ループ31とスカーフ9が取り付けられた際のスカーフの重みとにより折り返し保持されるので内側へ戻ることがない。また、スカーフ9を取り付けないときには支持ループ31への挿通を解除すればループ片30は身生地側に向けて取り付けられているので首回り部から露出することがない。

20

【0034】

（実施の形態4）

実施の形態4として、スカーフ留めとなるループを大小2つ形成する例を説明する。なお、上記実施の形態と共通する部分については説明を適宜省略し、異なる部分について詳しく説明する。

30

【0035】

図10は、スカーフ留めダブルループの例を示す図であり、図11は、スカーフ留めダブルループにスカーフを通した状態を示す図である。ダブルループ40は、ダブルループ40の本体が形成する大ループ42と、大ループ42よりも小さな径のループを形成する小ループ41と、これら2つのループを備えている。小ループ41は、ダブルループ40の表面側に形成され、大ループ42の下端と小ループ41の下端とは重ね合わされている。小ループ41は、ミニスカーフを一枚だけで使用する際に生じやすいスカーフすべりを大幅に改善し、長時間の使用にも型崩れを生じさせにくくすることができる。一方の大ループ42は成形型のミニスカーフやロングスカーフをアレンジして使用する場合に適した大きさとなっている。小ループ41を下側に配してスカーフ9を着用することで衿の折り返しを美しく表現することができる。なお、小ループ41と大ループ42とは配色を異ならせて、視認性を高めて使いやすくするのが好ましい。

40

【0036】

図12は、ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めダブルループを示す図である。ループ片50は、大ループ51と小ループ52とを備えている。小ループ52は、ホール6にループ片50を挿通させた後、小ループ52が表側に出ないようにループ片50の裏側に設けられている。小ループ52の一方の端部は、ループ片50の遊離している側の端部に縫着または接着などにより固定されており、小ループ52の他方の端部は遊離した状態となっている。

【0037】

50

図13は、ホールのないジャケットにおけるスカーフ留めダブルループを示す図である。このループ片53は、身生地側に折り返すことでラベルから現出させてスカーフ9を取り付け可能な状態とするものである。ループ片53の一方の端部56は、ラベルと身生地との境界側に縫着または接着などにより固定されている。ループ片53の遊離した状態の他方の端部は、スカーフ9が取り付けられるとスカーフの重みにより身生地側への折り返しが保持されるのでラベル側へ戻ることがない。このループ片53も大ループ54と小ループ55とを備えている。小ループ55は、ループ片53が身生地側に折り返されたときに小ループ55が表側に現れないよう、図12における小ループ52と異なり、ループ片55の表側に設けられている。小ループ55の一方の端部は、ループ片53の遊離している側の端部に縫着または接着などにより固定されており、小ループ55の他方の端部は遊離した状態となっている。

10

【0038】

図14は、ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めダブルループを示す図である。このループ片60は、大ループ63と小ループ64とを備えている。ループ片60を折り返して支持ループ61に通してノーカラージャケットの首回り部からループ63を有するループ片60を現出させるにあたり、小ループ64が表側に現れないように小ループ64はループ片60の表側に設けられている。小ループ64の一方の端部は、ループ片60の遊離している側の端部に縫着または接着などにより固定されており、小ループ64の他方の端部は遊離した状態となっている。

【0039】

20

なお、本実施の形態では小ループの全体が大ループに重ねられている例を図示しているが、小ループの一部又は全部が大ループと重ならないように構成するものであってもよい。

【0040】

(実施の形態5)

実施の形態5として、スカーフ留めとなるループを3つ形成する例を説明する。なお、上記実施の形態と共通する部分については説明を適宜省略し、異なる部分について詳しく説明する。

【0041】

図15は、スカーフ留めトリプルループの例を示す図であり、図16は、スカーフ留めトリプルループにスカーフを通した状態を示す図である。トリプルループ70は、トリプルループ70の本体が形成する大ループ73と、大ループ73の表面に形成される同じ径の大きさの双子のループ71およびループ72と、計3つのループを備えている。双子のループ71およびループ72を形成することで、実施の形態4と同様に、スカーフすべりを大幅に改善することができ、長時間使用でも型崩れしにくくすることができる。双子のループ71およびループ72は、それぞれループの下端は大ループ73の上端と下端と重ね合わされており、それぞれループの上端はループ同士が接合する接合部となっている。このループ同士の接合部が繋ぎ合されてループを組み合わせているためアーチ型に全体の膨らみが生まれ、スカーフを挿入しやすい構成になっている。また、スカーフ9を大ループ73に通してから双子のループ71およびループ72に通して使用することでスカーフの厚みを軽減した結び方が可能となり、衿の形状を美しく保ちながら首回りを華やかに見せることができる。

30

40

【0042】

図17は、ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めトリプルループを示す図であり、ループ片80は、同じ大きさの双子のループ82およびループ83と、大ループ81の計3つのループを備えている。図18は、ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めトリプルループを示す図であり、このループ片90も同じ大きさの双子のループ93およびループ94と、大ループ95の計3つのループを備えている。

【0043】

なお、双子のループと大ループとは配色を異ならせて、視認性を高めて使いやすくする

50

のが好ましい。また、双子のループ同士も配色を異ならせて視認性を高めるようにしてもよい。

【 0 0 4 4 】

(実施の形態 6)

実施の形態 6 では、スカーフ留めとなるループを大きさを異ならせて 3 つ形成する例を説明する。上記実施の形態と共通する部分については説明を適宜省略し、異なる部分について詳しく説明する点は同様である。

【 0 0 4 5 】

図 19 は、スカーフ留めトリプルループの別の例を示す図であり、図 20 は、スカーフ留めトリプルループにスカーフを通した状態を示す図である。トリプルループ 100 は、トリプルループ 100 の本体が形成する大ループ 103 と、大ループ 103 の表面の上側に形成される、大ループ 103 よりも小さいループの中ループ 101 と、大ループ 103 の表面の下側に形成される、最も小さいループの小ループ 102 と、これらそれぞれ大きさの異なるループを備えている。小ループ 102 は、スカーフすべりを大幅に改善する効果があり、ミニスカーフを 1 枚で使用するのに適している。中ループ 101 は、成型型のミニスカーフを使用するのに適している。大ループ 103 は、成型型のミニスカーフやロングスカーフのアレンジや、様々なボリュームアレンジに適している。このように 3 つの大きさの異なるループを形成することで、スカーフの様々なバリエーションに対応することができるようになっている。また、小ループ 102 を下側に配してスカーフ 9 を着用することで衿の折り返しを美しく表現することを可能にしている。

【 0 0 4 6 】

図 21 は、ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めトリプルループの例を示す図であり、ループ片 110 は、大きさの異なる大ループ 113、中ループ 111 および小ループ 112 の計 3 つのループを備えている。図 22 は、ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めトリプルループを示す図であり、このループ片 120 も大きさの異なる大ループ 123、中ループ 125 および小ループ 124 を備えている。さらに、ループ片 120 は、折り返した時に表側に配置される中ループ 126 も備えており、計 4 つのループを備えている。ここでは、ホール付きジャケットおよびノーカラージャケットにおいて、大中小のサイズの異なるループを例示しているが、ジャケットの使用形態ではループ片を折り返したり、ホールに通して使用するため、ループの大きさに 3 段階の差異をつけるのではなく、大ループ 2 つと小ループ 1 つという組み合わせとすることが好ましいこともある。

【 0 0 4 7 】

なお、上記実施の形態と同様に、大ループ、中ループおよび小ループはそれぞれ配色を異ならせて、視認性を高めて使いやすくするのが好ましい。

【 0 0 4 8 】

(実施の形態 7)

続いて、実施の形態 7 としてスカーフ留めとなるループを捻らせてツイストループとして形成する例を説明する。ここでは、実施の形態 6 の小ループをツイストループとする例を説明する。

【 0 0 4 9 】

図 23 は、スカーフ留めツイストループの例を示す図である。トリプルループ 130 は、大ループ 133 と、中ループ 131 と、小ループ 132 とを備えている。小ループ 132 は、ループに捻りが加えられてツイストループ 134 となっている。

【 0 0 5 0 】

図 24 は、スカーフ留めツイストループを拡大して示す図であり、図 25 は、ツイストループを説明するための図である。ツイストループ 134 は、ツイスト(捻り)を 2 回転加えることで形成される。2 回転のツイストにより、テープ状の平面が筒状の立体になり、小さなループでもスカーフを差しこみやすい空間を創出することができる。この捻りをしやすいように中ループ 131 と小ループ 132 を構成する素材は、薄地のタフタ素材を用いるのが好ましく、経糸よりも緯糸を細くして摩擦や擦れに強いテープで形成するのが

好ましい。

【 0 0 5 1 】

図 2 6 は、ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めツイストループを示す図であり、ループ片 1 4 0 は、大ループ 1 4 3、中ループ 1 4 1 および小ループ 1 4 2 の計 3 つのループを備えており、小ループ 1 4 2 がツイストループ 1 4 4 となっている。

【 0 0 5 2 】

図 2 7 は、ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めツイストループを示す図であり、このループ片 1 5 1 も大ループ 1 5 3、中ループ 1 5 4 および小ループ 1 5 5 の計 3 つのループを備えており、小ループ 1 5 5 がツイストループ 1 5 6 となっている。

【 0 0 5 3 】

なお、上記実施の形態と同様に、大ループ、中ループおよび小ループはそれぞれ配色を異ならせて、視認性を高めて使いやすくするのが好ましい。

【 0 0 5 4 】

(実施の形態 8)

さらに、実施の形態 8 としてスカーフ留めとなるループを折り畳んだフォルディンググループとして形成する例を説明する。ここでは、実施の形態 6 の小ループをフォルディンググループとする例を説明する。

【 0 0 5 5 】

図 2 8 は、スカーフ留めフォルディンググループの例を示す図である。トリプルループ 1 6 0 は、大ループ 1 6 3 と、中ループ 1 6 1 と、小ループ 1 6 2 とを備えている。小ループ 1 6 2 は、ループが折り畳まれて形成されるフォルディンググループ 1 6 4 となっている。このトリプルループ 1 6 0 においても、中ループ 1 6 1 と小ループ 1 6 2 を構成する素材は、薄地のタフタ素材を用いるのが好ましく、経糸よりも緯糸を細くして摩擦や擦れに強いテープで形成するのが好ましい。

【 0 0 5 6 】

図 2 9 は、スカーフ留めフォルディンググループを拡大して示す図であり、図 3 0 は、スカーフ留めフォルディンググループを説明するための図である。フォルディンググループ 1 6 4 は、小ループ 1 6 2 を側方(右)へ直角に折り曲げ、反対側方(左)へ折り返し、下方へ直角に折り曲げ、最後に側方(右)へ折り返すという手順で小ループ 1 6 2 を折り畳むことにより(4回の捻りを加えることにより)形成される。図 3 1 は、スカーフ留めフォルディンググループの作用を説明するための図である。このフォルディンググループ 1 6 4 は、平面のテープが略直角三角形の 2 つで構成される折り畳み構造となることで、立体的なスプリングのごとき作用を奏する。すなわち、スカーフ着用時にはフォルディンググループ 1 6 4 を上方へ引き上げると、開くように蛇腹状に伸びるだけでなく空間 1 6 5 を形成するのでスカーフを差しこみやすくなる。またスカーフを外して未使用とするときは、フォルディンググループ 1 6 4 を構成する素材に高熱高圧プレスをかけておくことで、指で軽くたたく程度で閉じていき、元の折り畳み状態に戻るようになっている。

【 0 0 5 7 】

図 3 2 は、ホール付きジャケットにおけるスカーフ留めフォルディンググループを示す図であり、ループ片 1 7 0 は、大ループ 1 7 3、中ループ 1 7 1 および小ループ 1 7 2 の計 3 つのループを備えており、小ループ 1 7 2 がフォルディンググループ 1 7 4 となっている。

【 0 0 5 8 】

図 3 3 は、ノーカラージャケットにおけるスカーフ留めフォルディンググループを示す図であり、このループ片 1 8 0 も大ループ 1 8 3、中ループ 1 8 4 および小ループ 1 8 5 の計 3 つのループを備えており、小ループ 1 8 5 がフォルディンググループ 1 8 6 となっている。

【 0 0 5 9 】

なお、上記実施の形態と同様に、大ループ、中ループおよび小ループはそれぞれ配色を異ならせて、視認性を高めて使いやすくするのが好ましい。

10

20

30

40

50

【 0 0 6 0 】

以上、本発明に係るスカーフ留め構造について、各実施の形態に基づいて説明したが本発明はこれに限定されるものではなく、本発明の目的を達成でき、かつ発明の要旨を逸脱しない範囲内で種々設計変更が可能であり、それらも全て本発明の範囲内に包含されるものである。

【 0 0 6 1 】

例えば、上記各実施の形態では、シャツ、ジャケットなどを例にして説明したが、首回り部を有する衣類（例えば、ベストやプルオーバーシャツなど）であれば、いずれにも適用可能であり、ベストやプルオーバーシャツであればノーカラージャケットと同様のループが適用可能である。

10

【 0 0 6 2 】

また、上記各実施形態では配色について各ループで異ならせることを述べているが、シャツなどの白地や淡色系が多い衣類であればループの配色も淡色とし、ジャケットなどの黒や紺など濃色系が多い衣類であればループの配色も濃色として目立ちにくくするのが好ましい。

【 0 0 6 3 】

さらに、上記各実施形態を適宜組み合わせることも可能である。例えば、実施の形態 7 のツイストループや実施の形態 8 のフォルディングループを実施の形態 1 の衿付きシャツのいずれかのループに適用してもよいし、実施の形態 1 の複数のループを実施の形態 4 のダブルループや実施の形態 5 の双子のループによって形成するとしてもよい。

20

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 6 4 】

本発明は、衣服の首回りや胸元にスカーフを取り付ける構造として適用可能であり、特に衿部を有する衣服に有用である。

【 符号の説明 】

【 0 0 6 5 】

- 1 シャツ
- 2 衿部
- 3 台衿
- 4 ジャケット
- 5 ラベル
- 6 ホール
- 7 ノーカラージャケット
- 9 スカーフ
- 10, 16, 21, 33 ループ
- 11, 17, 19 ループ上端
- 12, 15 ループ下端
- 13 クロスループ
- 14 V字ループ
- 18 台衿ホール
- 20, 30, 50, 53, 60, 80, 90, 110, 120, 140, 150, 170, 180 ループ片
- 31, 61, 91, 121, 151, 181 支持ループ
- 32, 62, 92, 122, 152, 182 ループ端部
- 40 ダブルループ
- 41, 52, 55, 64, 102, 112, 124, 132, 142, 155, 162, 172, 185 小ループ
- 42, 51, 54, 63, 73, 81, 95, 103, 113, 123, 133, 143, 153, 163, 173, 183 大ループ
- 70, 100, 130, 160 トリプルループ

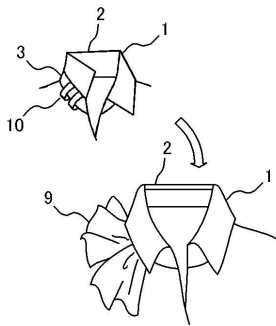
30

40

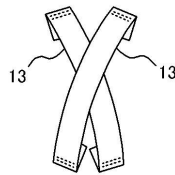
50

7 1 , 7 2 , 8 2 , 8 3 , 9 3 , 9 4 双子ループ
1 0 1 , 1 1 1 , 1 2 5 , 1 2 6 , 1 3 1 , 1 4 1 , 1 5 4 , 1 6 1 , 1 7 1 , 1 8 4
中ループ
1 3 4 , 1 4 4 , 1 5 6 ツイストループ
1 6 4 , 1 7 4 , 1 8 6 フォルディングループ

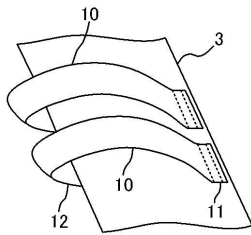
【図1】



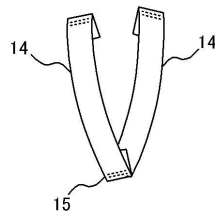
【図3】



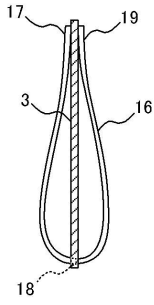
【図2】



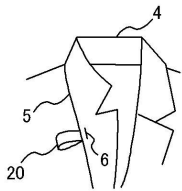
【図4】



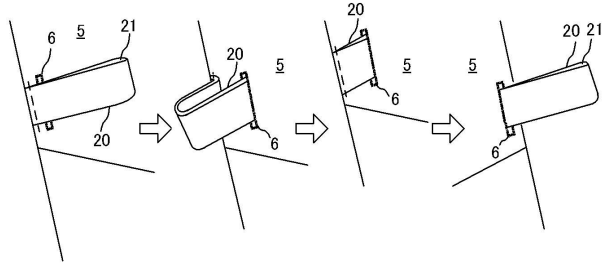
【図5】



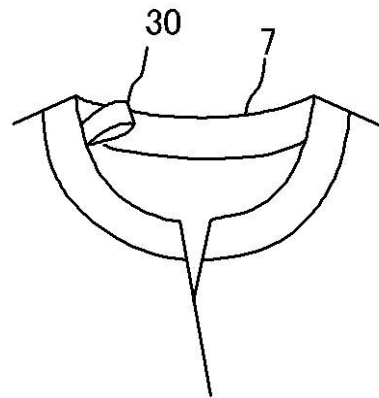
【図6】



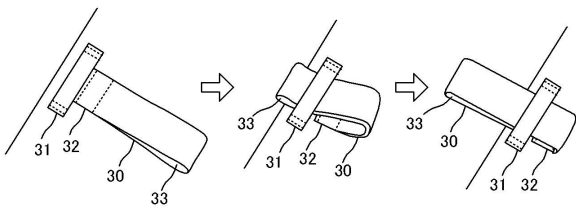
【図7】



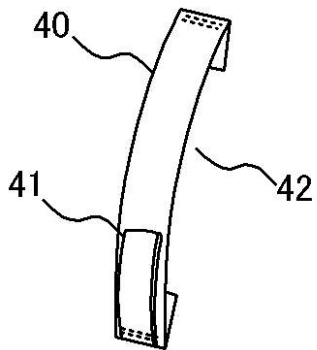
【図8】



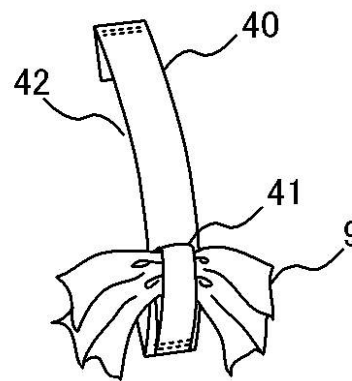
【図9】



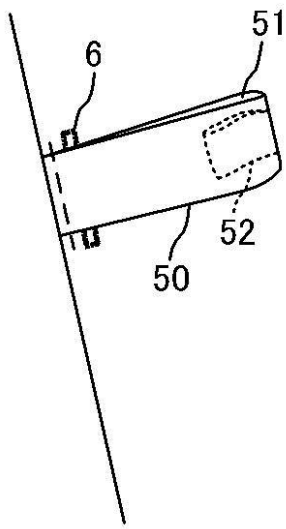
【図10】



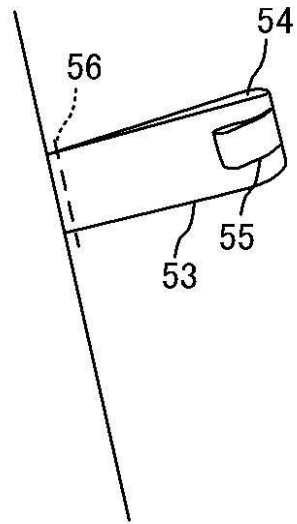
【図11】



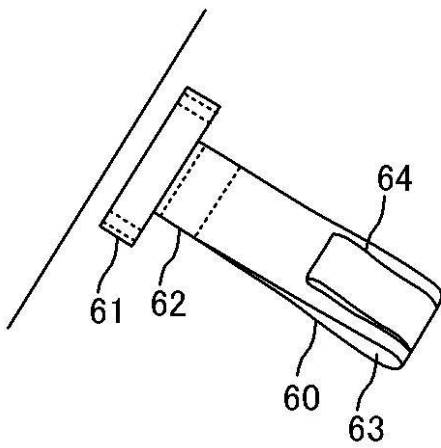
【図12】



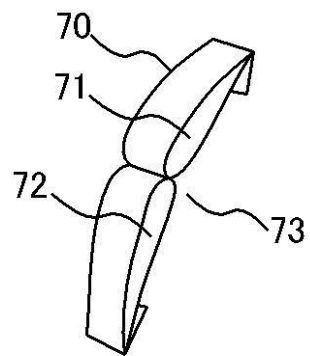
【図13】



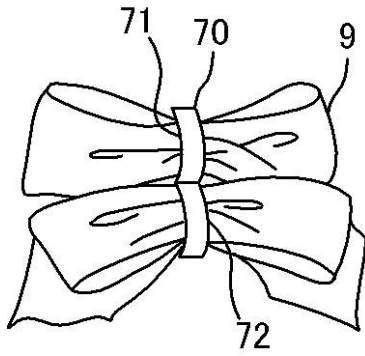
【図14】



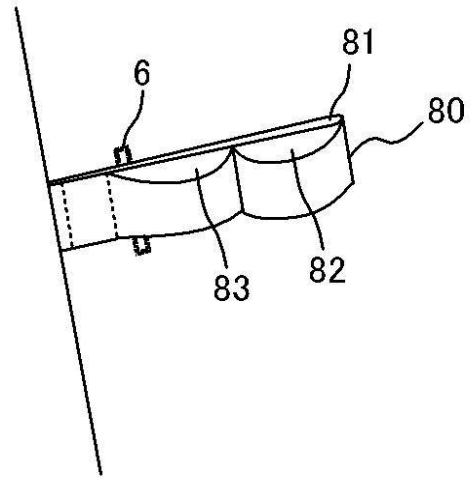
【図15】



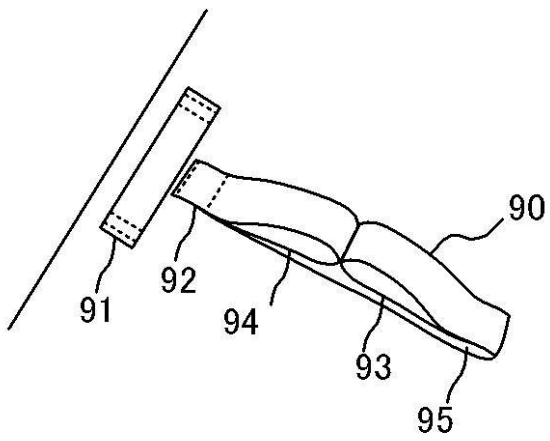
【図16】



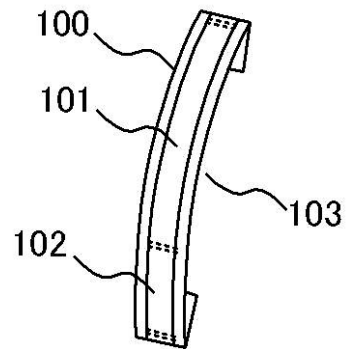
【図17】



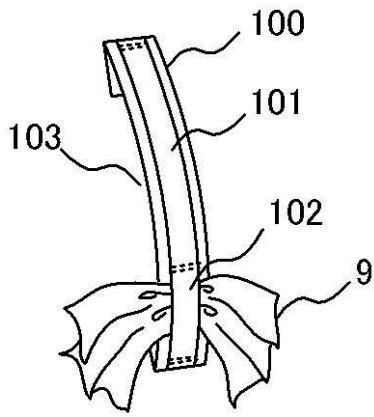
【図18】



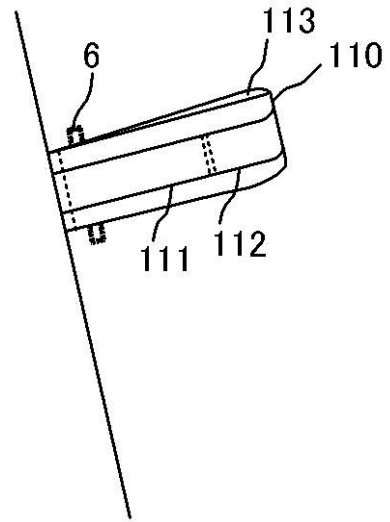
【図19】



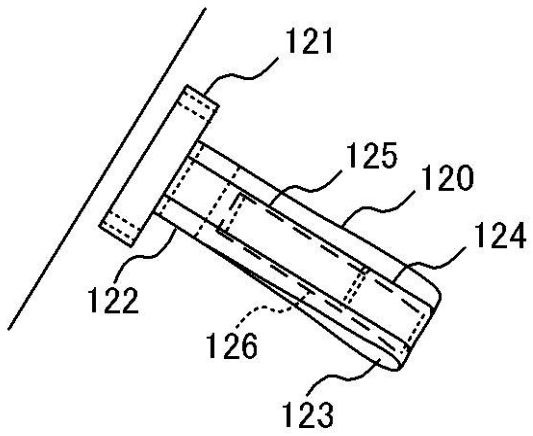
【図20】



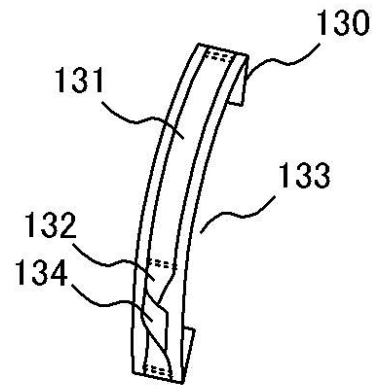
【図21】



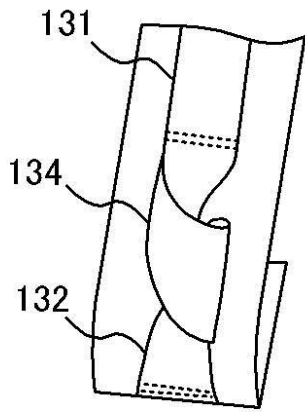
【図22】



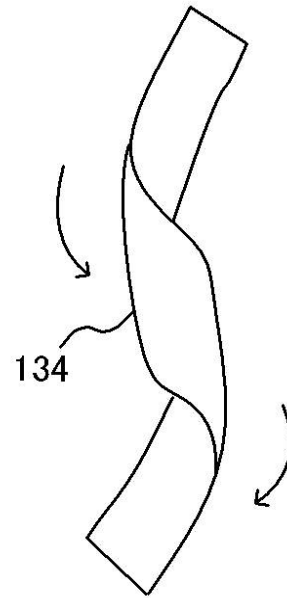
【図23】



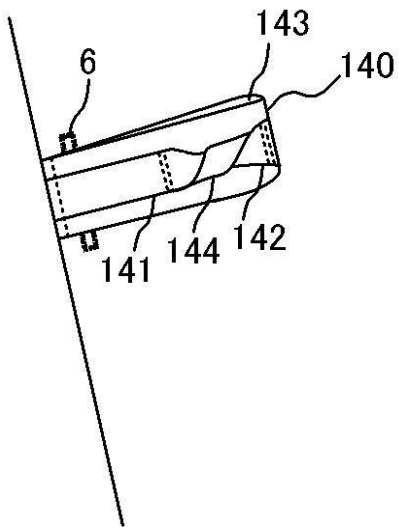
【図24】



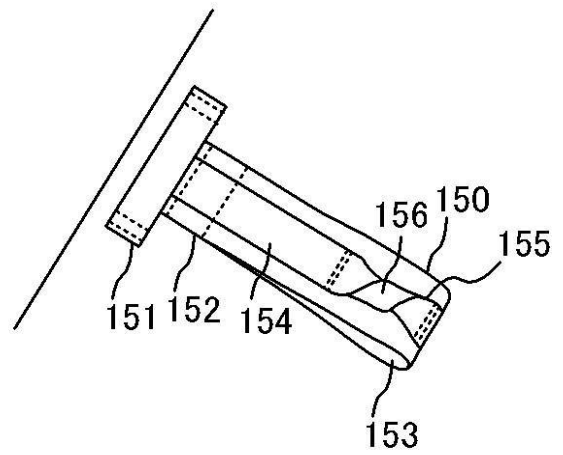
【図25】



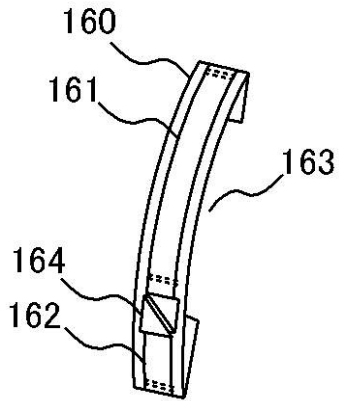
【図26】



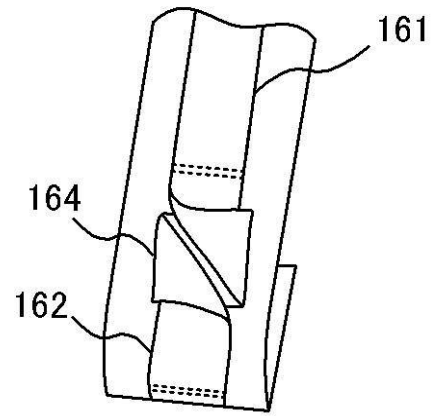
【図27】



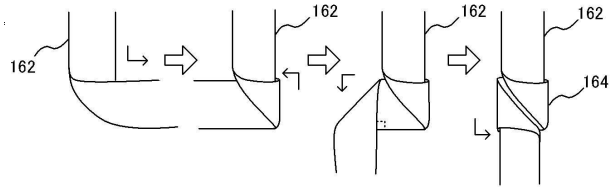
【図28】



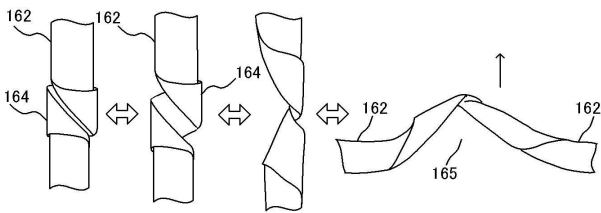
【図29】



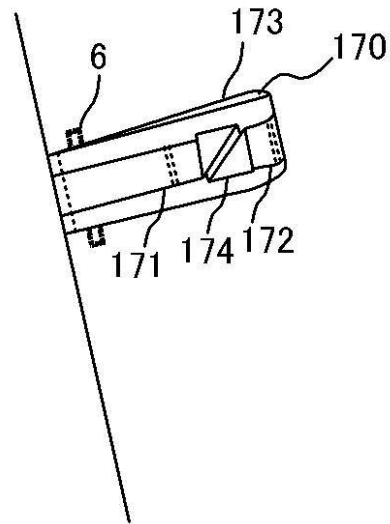
【図30】



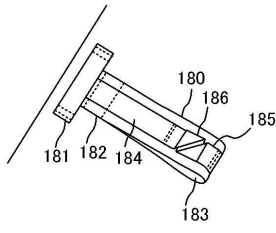
【図31】



【図32】



【 3 3 】



フロントページの続き

(56)参考文献 登録実用新案第3186092(JP,U)
実開昭57-121601(JP,U)
登録実用新案第3035659(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A41B 1/00 - 7/12
A41D23/00 - 25/16
A44B99/00